

現代心理学部教育課程編成の方針

教育課程の編成と特色

心理学科

心理学科の教育課程は、学士課程における修業年限4年間を「導入期」「形成期」「完成期」の3期に区分する『RIKKYO Learning Style』に準拠して編成している。各期のねらいと特色は以下のとおりである。

- ・導入期は「学びの精神」「学びの技法」「言語教育科目」などにより構成される。そのねらいは、立教大学、現代心理学部、心理学科における多彩な学びに必要な要素を徹底的に身につけることに置かれる。また、4年間の学習過程の展望と生涯にわたるキャリアデザインの視座を得ることを目標とする。なお、NEXUS プログラムでは、標準 0.5 年間〔1学期間〕の日本語集中履修期間に加え、言語 A および言語 B における日本語、ならびに平易な日本語を用いて実施する「学びの精神」の履修をとおして、学ぶための姿勢と基礎的な知識・技法を身につける。
- ・形成期は「学部コラボレーション科目」「専門教育科目」「多彩な学び」などにより構成される。そのねらいは、心理学関連領域に関する多彩な学びに加え、心理学的な手法の実践的な学びを広範に展開し、専門性を高めることに置かれる。また、社会との関係性を広げ、他者や異文化への理解を深めながら、国際的な視野に立って心理学の知見を活用するために英語を通じた最先端の学びを陶冶することにも留意する。
- ・完成期は、「学科選択科目 A (演習)」および「学科選択科目 E (卒業論文)」「多彩な学び(グローバル教養副専攻など)」などにより構成される。そのねらいは、これまでの学びを踏まえながら、心理学の学びを深化させ、独自の研究テーマを設定して卒業研究に従事することや、より一層様々な学びを展開し多様な知識を積み重ねることに置かれる。また、これまでの自身の学生生活と人間的な成長を振り返りつつ、国際感覚をそなえた教養人として自立することを目標とする。その際、心理学科では、各自のキャリアデザインに応じて、認定心理士や社会調査士、公認心理師などの資格取得が可能となる独自の教育課程を編成している。

映像身体学科

映像身体学科の教育課程は、学士課程における修業年限4年間を「導入期」「形成期」「完成期」の3期に区分する『RIKKYO Learning Style』に準拠して編成している。各期のねらいは以下のとおりである。

- ・導入期は、「学びの精神」、「学びの技法」、言語教育科目などで構成し、大学および映像身体学科でのあらゆる学びに必要な要素を徹底的に身につける。なお、NEXUS プログラムでは、標準 0.5 年間〔1学期間〕の日本語集中履修期間に加え、言語 A および言語 B における日本語、ならびに平易な日本語を用いて実施する「学びの精神」の履修を通して、学ぶための姿勢

と基礎的な知識・技法を身につける。

- ・形成期は、学部コラボレーション科目、学科選択科目A(基礎演習/文献講読)、学科選択科目B(専門演習)、「多彩な学び」などで構成し、映像身体学に関する知識を修得して専門性を高めると同時に、社会との関係性を広げ、そして他者や異文化への理解を深める。
- ・完成期は、学科選択科目B(専門演習)、学科選択科目D(卒業論文・卒業制作)、「多彩な学び」などで構成し、大学の4年間の学びと自身の成長を振り返りつつ、その集大成として卒業論文または卒業制作をまとめるとともに、将来に向けた社会的活動の展望を獲得する。